

## I 目標 (GIO)

外科診療、外科手技の基礎を身につけ、主な乳腺、内分泌疾患について生理検査・画像検査を含めて幅広く学び、外科一般、乳腺内分泌外科領域の基本的な診察ができる。

## II 行動目標 (SBOs)

1. 以下の検査に関し、①適応の判断、②手技の実施、③結果の解釈が出来る。  
血液検査 (内分泌検査、腫瘍マーカー、術前一般検査)、動脈血液ガス分析。
2. 乳腺マンモグラフィの系統的な読影ができ、異常陰影を指摘し、解釈を述べ、カテゴリー分類を行うことができる。
3. 甲状腺、乳腺超音波検査の系統的な読影ができ、異常陰影を指摘し、解釈を述べ、カテゴリー分類を行うことができる。
4. 副腎腫瘍の鑑別診断の実施方法、合併症を述べることができる。
5. 内分泌疾患治療適応に関して判断できる。
6. 甲状腺癌の病期および治療適応に関して判断できる。
7. 乳癌の病期および治療適応に関して判断できる。
8. 化学療法を決まったプロトコール、レジメに従って、副作用などを理解し、実施できる。
9. 緩和ケアに関して理解し、基本的な症状コントロールが実施できる。
10. 患者の尊厳に配慮し、死亡確認および遺族への対応が行える。
11. 皮膚縫合が指導なしに行える。
12. 初歩的な外科手技を指導のもとで術者として行える。
13. 合併症のない患者の術前術後管理が行える。
14. 術後患者のドレーン管理が行える。
15. 上級医・指導医の指導監督のもとで病状説明ができる。

## III 方略

- ・病棟で患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと受け持ち医として主体的に診察する。
- ・回診・・・2回/日(月・火・水・木・金)受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。また、学生が担当となった受け持ち患者に対しては学生にプレゼンテーションの指導を行う。
- ・術前カンファレンス・・・週1回(水)。受け持ち患者に関してサマリーを作成、プレゼンテーションを行う。また、学生が担当となった受け持ち患者に対しては学生にサマリー作成、プレゼンテーションの指導を行う。
- ・術後カンファレンス・・・週1回(月)。術者として手術を行った場合、手術経過を報告する。
- ・体表超音波検査・・・週3回(火・木・金)。検査の準備を行い、一部検査を実施する。
- ・合同カンファレンス・・・1ヶ月/回(不定期)。乳腺内分泌外科、放射線部、検査部による合同カンファレンスに参加し、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ・その他、地方会や院内勉強会(筑波学園病院ワークショップ)に積極的に参加する。